



議会からのたより

議会の主な動き

(令和2年8月～令和2年10月)

- 8月19日
戦没者・功労者追悼式に議長
外議員6名出席
- 8月25日
第6回議会全員協議会開催
- 8月27日
第3回議会運営委員会開催
- 9月11日
総務産業・文教厚生常任委員会
合同町内所管事務調査を実施
- 10月9日
第8回議会報発行特別委員会
開催
- 10月27日
第9回議会報発行特別委員会
開催
- 10月30日
第7回議会全員協議会開催

第5回定例会

9月9日から11日までの3日間を会期として開催し、報告4件、同意1件、規約変更3件、条例改正1件、補正予算3件、各会計歳入歳出決算認定7件、意見案4件、発議1件の合計24件の議案が提案され、原案のとおり可決し、閉会した。一般質問は白井議員、山本議員の2名が行った。

報告

- ◆ 継続費精算報告書について
- ◆ 令和元年度健全化判断比率の報告について

行政報告

- ◆ 令和元年度資金不足比率の報告について
- ◆ 教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書（令和元年度対象）について
- ◆ 遠別町立診療所建設候補予定地の選定について
- ◆ デマンドバス運行に伴う車両の無償譲渡について
- ◆ 令和2年度普通交付税等の決定について
- ◆ 遠別農業高等学校海外研修の国内研修への変更について

審議事項

- ◆ 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について
- ◆ 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について
- ◆ 北海道市町村総合事務組合規約の変更について
- ◆ 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
- ◆ 教育委員会委員の任命について
- ◆ 小田中紀仁氏（本町6）の任命について同意した。

主な補正予算

【一般会計】

- ◆ 新型コロナウイルス感染症対策事業
- ◆ 幼児センター空調換気設備設置工事 1, 300万円新規
- ◆ 小学校空調換気設備設置工事 1, 750万円新規
- ◆ 小学校タブレット型端末 594万6千円新規
- ◆ 中学校タブレット型端末 308万9千円新規
- ◆ 持続化給付金 5, 400万円新規
- ◆ 景気浮揚経済活性化対策事業補助金 330万円増



意見案

- ◆ 地方財政の充実・強化を求める意見書
提出者 山下議員
賛成者 小森議員、山本議員
- ◆ 種苗法の改正に関する意見書
提出者 木村議員
賛成者 山本議員、白井議員
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
提出者 小森議員
賛成者 柏谷議員、山本議員
- ◆ 国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書
提出者 小森議員
賛成者 柏谷議員、山本議員

教育長からの行政報告（抜粋）



海外研修の国内研修への変更

教育委員会から遠別農業高等学校海外研修の国内研修への変更について報告をさせていただきました。遠別農業高等学校の海外研修は、教育振興会事業の生徒募集の一環として、在学中における海外の農業研修と現地高校生との交流を目的に、平成6年から開始され、毎年3年生全員が研修を行っております。今年度は、夏休み期間中にオーストラリアを訪問する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、海外への渡航は困難であることから今年度の海外研修を中止することとしました。海外研修の中止を受け



て、教育振興会、学校と協議した結果、3年間の集大成である研修機会をなくすことは望ましくないと判断し、国内研修に変更して新たな研修地を模索しているところであります。ただ、全国各地において感染が拡大していることから、最終的な研修開催の可否については、10月に感染状況等を再度確認し、決定することとしております。以上、今年度の遠別農業高等学校の海外研修については、国内研修に変更することとし、各地の感染状況を見ながら開催可否を判断することとしましたので、ご報告をいたします。

議員出席状況

令和2年8月1日～令和2年10月31日

区分 議員名	定例会・臨時会			常任委員会等				特別委員会			合計		出席率 (%) ⑥/⑤							
	開催 日数 ①	出席内容		総務 産業 1	文教 厚生 1	議事 運営 1	全員 協議 2	議事 報告 発行 2	決算 審査 1	予算 審査 1	開催 日数 合計 ①+③ ⑤	出席 日数 合計 ②+④ ⑥								
		全日 出席	遅刻											早退	出席内容			欠席内容		
															出席 日数 計 ②	慶 弔	病 欠	その他	出席 日数 計 ④	慶 弔
西畑 広男	2	2		2				5	5			7	7	100.0%						
小森 嘉孝	2	2		2				7	7			9	9	100.0%						
白井 金治	2	2		2				6	6			8	8	100.0%						
柏谷 美春	2	2		2				5	5			7	7	100.0%						
木村 秀雄	2	2		2				4	4			6	6	100.0%						
千葉 光悦	2	2		2				4	4			6	6	100.0%						
大石 幸夫	2	2		2				4	4			6	6	100.0%						
山下 悟	2	2		2				6	6			8	8	100.0%						
山本 仁美	2	2		2				5	5			7	7	100.0%						

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は12月中旬の開催予定です。

【お問い合わせ】
議会事務局
電話 7-2147 (直通)
メール gikai@town.embetsu.hokkaido.jp

白井議員

問 公共施設の総合的管理について

笹川町長

答 利用状況、老朽化を考慮し解体を含め、対策を検討

町政を問う

第5回定例会「一般質問」



問

全国的に過去に建設された公共施設が大量に更新時期を迎える一方、財政は依然として厳しい状況にある。また、今後人口減少により公共施設等の利用需要が変化していく。総務省では、公共施設等の全体を把握し、長期的な視点で更新、統廃合、長寿命化などの計画を行うことにより、財政負担を軽減、平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要であるとし、公共施設等総合管理計画の策定を各市町村に要請し、本町では平成29年3月に遠別町公共施設等総合管理計画を策定している。その中で、維持管理をする公共施設に対し、定期的に劣化度、利用度、コスト等の評価を実施し、

結果に応じて個別計画を見直すとしている。そこで、富士見ヶ丘公園の野外ステージ及び野鳥観察小屋の今後の管理をどう考えているか。清川と中央にある浄水施設の管理をどう考えているか。

また、遠別中学校は、総合管理計画で計画的な施設の更新を進めるとなっているが、第6期遠別町総合計画では新築事業が先送りになっている。校舎の新築をいつ頃と考えているか。

答

公共施設の維持管理については、今後の人口減少や施設の老朽化を踏まえつつ、まちづくりの方針に併せて計画的に管理することが必要である。当町においても国の指針に基づき、遠別町公共施設等総合管理計画を策定し、長期的なインフラの維持、更新等を検討し、費用の平準化を図りつつ、住民サービスの向上と健全な行財政運営を進めている。計画の策定時において、今後、廃止予定及び休止

の施設については、当該計画からは除いた計画としている。

野外ステージ及び野鳥観察小屋の今後の管理は、道の駅えんべつ富士見を含め、富士見ヶ丘公園を一体として施設の整備、管理を進めていく必要がある。

野外ステージは、老朽化が著しい状況で、利用の変化を踏まえ、第6期総合計画では解体する予定としている。また、野鳥観察小屋については、公園施設全体を含めた利用状況や老朽化を考慮し、対策を検討したい。

次に、清川にある旧啓明浄水場について、啓明地区国営農地開発事業により、北部地区の雑用水施設として整備され、昭和60年に本町に譲渡された。平成7年に本町地区浄水場からの配水に統合したことから、現在は使用していない。施設を撤去する場合、取水施設や道道遠別中川線の導水管の撤去も必要となり、道との協議を要するので、今後検討していきたい。また、中央浄水場については、昭和53

年に中央地区の簡易水道施設として整備され、平成12年に本町地区浄水場からの配水に統合したことから、現在使用していないが、緩速ろ過方式によるため非常時の予備施設として休止している。

遠別中学校の校舎改築については、国庫補助を申請するため個別施設計画を策定する必要があり、現在、策定業務を委託し、作業を進めている。今年度、町立診療所建設基本設計に着手しているが、校舎の改築時期は、財政状況を見ながら診療所建設後、早急に基本計画に着手できるように準備を進めていく。



富士見ヶ丘公園
野外ステージ

山本議員 問 ヘルプマーク、ヘルプカードの普及について

笹川町長 答 ポスターの掲示、関係団体に周知する。



問

障がい者や難病を抱えた方が必要な支援を予め記載し、緊急時や災害時に提示して周囲の配慮や手助けを得やすくするヘルプカードがある。また、障がい者の中でも特に外見上では分からない義足、内部障がいの方など、日常生活や緊急時に周囲に支援を必要としている事を知らせることができるヘルプマークもある。多くの方がヘルプカードやヘルプマークを身に着けることによって、より認知度が広がり、偏見も徐々になくなっていくと考える。平成24年10月から東京都が導入し、北海道でも平成29年度から導入、各市町村で配布できるようになっている。しかし、当事者も含め、未だに存在を知らない人がいる。ヘルプカード、ヘルプマークの周知における取り組みはどのように行っているか。

答

本町では、北海道の取り組みに合わせ、平成29年10月19日からヘルプマーク及びヘルプカードの配布を福祉課の窓口で行っている。広報えんべつによる周知のほか、町のホームページへの掲載やポスターの掲示をしており、ホームページでは、ヘルプカードの様式をダウンロードすることができ、より多くの方がヘルプマーク及びヘルプカードを理解することができるよう周知を図っている。ヘルプカード及びヘルプマークについて、周囲の方に支援を必要としていることを具体的に知らせることで援助を安心して受けられ、また、支援する人も、どう支援したらよいかを理解し、安心して手助けできるためのツールとして有効である。日常生活だけではなく、災害時の活用も想定されるヘルプマーク及びヘルプカードを必要



再質問

としている方だけではなく、周囲でそのマークを見た町民の方々がヘルプマーク及びヘルプカードを理解していないと意味がないため、認知度を一層高められるよう周知していきたい。

問

ヘルプマーク、ヘルプカードが日常生活の中で普及すれば、緊急時、特に災害時に大いに役立ち、また、円滑な支援を展開できると考える。答弁の中で認知度を一層高められるように周知していくとの事だが、どのような形で周知するのか、具体的な案があれば伺う。

答

庁舎内において福祉課向かいの壁にポスターを1枚掲示しているが、なごみなどの施設にはポスターがなく、また、ポスターは北海道が作成しているため、在庫があれば要請し、各施設に掲示する。ポスターを掲示しても目に止めなければ、内容の理解にならないため、身体障がい者の協会、老人クラブなど各関係団体に周知を

行う。このマーク及びカードは、東京都からスタートして、全国に波及しているが、東京都と本町と比較すると、社会性の違いがあり、町内の方は、誰が、どのような障がいをもっているか理解され、お互いに助け合っている状況もあり、東京都とは若干違うと認識している。しかしながら、ヘルプマーク、ヘルプカードが地域の皆さん、そして、障がいをもつ方々との繋がり、結びつきになり得るため、ポスターの掲示、各関係団体に周知し、さらに理解を深めていただくように進めていく。



ヘルプカード・ヘルプマーク

令和元年度 各会計決算審査特別委員会 9月10日

【一般会計（歳出）】

―商 工 費―

旭温泉の維持補修

指定管理者の対応は？

小森委員

Q 旭温泉には、毎年、修繕経費または物品の更新等かなりの経費をかけている。それに指定管理者でもあるということも含め、このままいくと修繕に關してずっと町の方で持ち出しがあるということで、指定管理者の指定管理費の中で何か対応した部分、できた部分というのはなかったのか。

小森経済課長

A 協定の中では、10万円以下の小規模な補修関係については、指定管理者において行うこととしている。ただ看板や10万円を超える大きな部分に関しては、町側の方で対応する形で進めている。

笹川町長

A 旭温泉の補修に関しては、段々補修費が上がってきているという現状がある。やはり施設全体、建物全体も老朽化してきているという事の表れだと押さえている。

私自身も旭温泉がこのままでいいのか、お湯についての人気度は高いので、このままいつまでいくということは明示できないが、いずれかの時点において、大規模改修が必要になってくると思っている。いつということとは申し上げる状況ではないこともご理解いただきたい。



―農 林 水 産 費―

酪農発電機導入事業

小森委員

Q 予算額とほぼ増減なく、導入台数12台の予算を組んだと思っているが、負担割合は、国、農家、農協、町とある。その中で、酪農家戸数は12戸ではないと考えるが、事業に乗らなかった、乗れなかった理由は？

小森経済課長

A 農協の方から全ての農家に聞き取りを行っている。12件の内、12台入れたが、2台分はお互い2戸で共用するという状態で、14戸分対応できる状況で、既に導入されている方も数件聞いている。

今後、離農も視野に入れながら、借りて、自力で対応していくという声も踏まえ、現状、12台、14戸分の対応でいくということ、全ての農家の意向を聞いた内容になっている。

―教 育 費―

費用対効果は？

見直す時期では？

山本委員

Q さわやかスポーツまつり運営補助金について、130万弱の金額は、費用対効果としてはどうか。毎年思うが、今年はコロナの影響で中止だが、参加人数も大変な中集まり、また、マナーというのもあり、見直す時期に来てると感じているが、その辺はどうか。

瀧川教育次長

A 過去にもこういう話があり、10年くらい前にアンケート調査を取っている。その時の中で、継続して欲しいという意見が実際多かったの、継続したということである。今、体育協会の会長も町内会の会長をやっている、町内連合会の中でも、批判的な意見はないということ、継続をしている状況であり、一年に一回でもやはり懇親

を深めるといふ場になつてい
るので、それだけの費用対効果は
あると評価している。

【国保病院会計（総括）】

新しい診療所に向けて
経営状況の精査を

小森委員

Q 決算数字的には、黒字決算
になつてはいるが、一般会計か
らの繰り出しがあるといふこ
と、毎年今まで財政的な部分で
あまりよくない数字があがつて
きている中、30年もだが、元
年度の収支の状況を把握し、今
までの経営状態、どのようなこ
ろが良いのか悪いのか。患者さ
んの数はどうか。患者さんが地
方に行かれていふといふことも
含め、キチツと整理をしておか
なければいけないところだと思
う。改めて元年度の決算に基づ
いて、考えておくべきではない
のか。町長の考えを伺う。



笹川町長

A これは病院の経営とい
うか、私の思いの中、政策的な流
れの中でやはり病院といふのは
住民の皆さん方の命を守るとい
う意味において、なんとか、ど
のような形でも死守したいとい
う思いです。つとやつてきた。そ
のやつてきた中には、言及され
たように、一般会計からの繰り
入れがあつて、はじめて病院と
しての収支が成り立っている
といふことについて、これは誰が
見ても、誰が考えても言われる
とおりだと思つてはいる。

他方、町民の皆さん方の命を
守るといふこととなると、その
お金とはまた違つた意味で、こ
の病院を守つていかなければな
らないといふのは、そういうこ
とにもなるわけであり、その辺
をどう調整するかについては、
私ひとりの問題ではなく、やは
り議員の皆さん方からもいろん
なご意見をいただいて、進めて
いかなければならないと思つて
はいる。

そうは言いながらも、病院経
営の収支そのものは、他会計か
らの繰り入れで賄つてはいる。た

だ全体として資金の欠如には
なつていない状況の中、なんと
か病院経営をやつてはいるとい
ふことはご理解いただけると思
う。

今後建物が老朽化し、皆さん
のご理解をいただいて、診療所
建設に向かう。そういう中、や
はり医療の質を少しづつ上げて
いかなければいけないと思つて
はいる。現在、院長一人で頑張つ
てくれているが、やはりその医
療の質といふことになると、い
ろんな要素が絡み合つていく。
一人から二人といふようなこ
とで、今いろいろ動いている状
況であり、そういう中で医療
の質がどう変わつていくのかと
いふことも私は見極めたいと
思つてはいる。そういう意味にお
いて、ただでさえ他会計から
の繰り入れがあるのに、医者
を一人から二人にといふのは、
たしてどうなんだといふ思い、
疑問も出てくるかと思つが、や
はり今一人で頑張つていて、土
日、祝祭日もまますならず、取
れないといふ、そういう状況の中、
肉体的にも精神的にも先生一人
だと追い込まれるといふような

状況もあるので、派遣の先生で
対応させてもらつてはいるが、な
かなかそういうストレスも拭
いきることができないといふこ
ともあるので、もう一度申し上
げるが、やはり先生を二人体制
の中で、じっくり皆さんと、患
者の皆さんと向き合つて、医療
の質を高めていく。その上で患
者と診療する側の相互理解のよ
うなものができるあがれば、もう
少し良い方向に向いていくので
はないかと思つて、今動い
ているので、ご理解をいただき
たい。



総務産業・文教厚生常任委員会町内合同所管事務調査

9月11日に総務産業常任委員会と文教厚生常任委員会による町内合同所管事務調査(現地調査)が行われ、現地調査活動として、北海道遠別農業高等学校和敬寮(増築分)、遠別漁港上架施設を調査し、その後各常任委員会に分かれ、担当者への事情聴取が行われた。

事情聴取での調査活動事項

総務産業常任委員会

－ 遠別漁港 上架施設の状況について －



現在の上架施設は、平成29年度に実施設計を行い、令和元年度までの3年間、総事業費約5億3千万円で令和2年1月に完成。4月から供用開始。施設の管理は、遠別漁業協同組合が町から委託を受けて行っており、8月末までに19回上架している。年1回程度、整備等により上架施設を使用し漁業閑散期に集中する。旧施設はリフト式で上架に時間がかかり、漂砂による影響も受けやすく順番待ちであったが、新施設はクレーン式で、船が入港してから船台に降ろすまで最短20分から30分程度で、漂砂の影響も受けず利便性が高く、上架が集中しても対応できる。遠別漁港は国が直轄する4種港であり、今後も北海道開発建設局、遠別漁業協同組合、町と協議しながら漁港整備を進め、漁業環境が厳しさを増す中、遠別漁業の発展及び活性化に期待する。また、新上架施設を多くの町民に見てもらえるよう、ひらめオーナー等のイベントを施設周辺で開催するなど検討いただきたい。

文教厚生常任委員会

－ 北海道遠別農業高等学校和敬寮(増築分)について －



増築面積は、155.682㎡、木造平屋建。6部屋、12名収容。事業費は、建設工事、備品購入等合わせて77,825千円、トイレ、シャワー室も増築した。令和2年3月完成、令和2年4月に道へ寄附し、4月より供用開始。増築前の寮は、定員が24名で、定数超過生徒は一般貸与住宅2軒を借用し入居させていたが、寮と離れており一元的な管理が困難であった。増築したことにより、最大36名入寮可能になり、現在、寮生は28名で、寮不足の解消、一元管理できる状態に改善され生徒指導の面において、管理者の負担も軽減されている。現在、増築した寮は満室で、既存部分は数部屋空いているが、空き部屋は、インフルエンザ等の感染症にかかった生徒が出た際の感染拡大防止対策として使用する。生徒募集については、今年も管内外の中学校へ訪問しているが、卒業生が減少する中、道立高校の多数が定員割れをする状況であり、苦慮している。遠別農業高等学校は、生徒の各種イベントへの参加、ふるさと納税返礼品の協力、さらにはマスメディアを通して本町の知名度アップ等に貢献されている。遠別農業高等学校の存続・活性化、地域活力の維持に向け、生徒募集に苦慮されているが、寮の整備及び町の様々な支援等をPRし、今後も引き続き、関係機関等と連携し、生徒確保に当たっていただきたい。

シリーズ

えんべつ町民 独占インタビュー

Vol.5

◎遠別町の住民をピックアップし、まちの印象や、行政、議会に対するの思いなどをインタビューし、議会活動に役立ていきます。

遠別4Hクラブ

4Hの理念である、生産技術の腕を磨き、自らの頭で科学的に物事を捉え、心から仲間を思い、心身共に健康を理念として、農業界で最も年齢層が若い団体です。

遠別4Hクラブは、岩戸亮介会長他9名の10名で活動し、今年度は、ポップコーンプロジェクト、春小麦の栽培、7年間続けている町民農園のひまわり栽培、遠別農業高校生徒と農業の魅力について話し合う『地域農業活性化フォーラム』、管内の25名の会員による研修会『ファーマーズトーク in RUMOI』、北海道青年農業者会議の研修会、遠別冬まつりへの出店を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、遠別農業高校との『地域農業活性化フォーラム』が中止となり、会員はとて残念だと話されていました。

ひまわりが満開になった町民農園では、『誰が種をまいてるの』とか『とっても綺麗に咲いている』などの声が聞こえてきて、会員の活力になっているとの事です。

4Hクラブでは、北海道農業改良普及センターと一緒に、多くの情報をもとに、農業経営や農業技術について意見交換し、農業者として独立していくためのノウハウを身に付けるとともに、スマート農業についても、留萌管内には先進地域もあり、今後、必要不可欠な農業技術として認識のもと、ロボットトラクターなどのICT技術をどう進めて行くべきか、導入も含め色々な話し合いがされています。

会員の中には、国の事業の『農業次世代人材投資事業』に5名が認定を受け、うち1名は5年を経過し、町内において新規就農者として日々努力している方もいます。クラブ員の方々は農業の基礎知識や経営者としての学習会、会員相互の親睦を深め、情報交換、さらには、農業を通じて地域の発展と新しい農業スタイルに雄大な希望を込め、4Hクラブの理念をもとに活動・活躍しています。

(文責：小森委員長)



地域農業活性化フォーラムの様子



ひまわりの栽培

タイトル写真



9月18日、インタビュー実施の際に撮影いたしました。

発行：遠別町議会
編集：議会報発行特別委員会
委員長 小森 嘉孝
副委員長 山下 悟
委員 白井 金治

あとがき (白井委員)

令和2年最後の議会だよりのあとがきを担当することになった。今年を振り返って見ると、記録的な少雪で雪解けが早く、春先の農作業も順調に進み、新しい道の駅のオープンなど、元気ある年となる事を期待していたが、新型コロナウイルス感染症により、農業、漁業をはじめ、学校等様々な分野で多大な影響を受けた。新型コロナウイルス感染症の早い終息と令和3年は、良い年になることを願うばかりである。